

せいわにし 学校だよ!

令和7年11月7日(金)
伊賀市立成和西小学校 N.o. 22
伊賀市大内624番地
<http://www.iga.ed.jp/seiwanishi-e/>

全校さくら集会 ~4年生・5年生学習発表~

10月29日(水)、さくら集会で4年生と5年生が学習発表をしました。

はじめに4年生が、「だれもが安心して楽しくすごすために」という題で、ひまわり作業所との交流会やバリアフリー・ユニバーサルデザイン、手話やデフリンピックについて学んだことを劇にして発表しました。

子どもたちは発表の中で、「耳が聞こえることが当たり前だと思っていたが、聞こえない人たちが、いろいろな工夫をしていることを知った。」「人とコミュニケーションをとることの大切さと難しさを学んだ」「手話を教室をして、もっと手話の勉強をしたいと思った。」「相手の話を最後まで聞くこと。そして、自分の考えを伝えることが大切だと思った。」と語りました。多くの人の出会いや体験学習の中で、大切な学びがたくさんありました。今後の生活の中で、ぜひ活かしてほしいと思います。



次に5年生は、「ニュース5(ファイブ) ~米作り体験から学んだこと総集編」という題で、5月から大野木地区環境保全会の皆様にご支援いただき、米作り体験から学んだことを劇にして発表しました。

子どもたちの劇の中に、「自分の目でしっかり見る、観察する」「お米や苗の気持ちになって考える」「失敗してもあきらめない。失敗するからこそ工夫する。」「みんなで協力する。同級生を大事にする」という言葉がありました。環境保全会の皆様や上田会長さんから、とても大事なことを教えてもらいました。5年生も学んだことをぜひ今後の学校生活や学習活動に活かしてほしいと思います。



4年生と5年生のどちらの学級も自分たちが学んだことを聞く人にしっかり伝えたいという思いがこもった発表でした。また、映像や音楽、小道具などの演出の工夫もよくされていました。担任の先生と相談して、一生懸命考えたり、作ったりしたことが、よくわかりました。すばらしい発表であったと思います。

上野南中学校区小学校6年生人権講演会

10月27日(木)に成和西小学校、成和東小学校、上野南小学校の6年生児童が上野南小学校に集まり、人権講演会を行いました。はじめに、3校の代表児童が各校の人権学習で学んだことを発表しました。次に「反差別・人権研究所みえ」の本江 優子さんから、「だれもが差別やいじめはいけないとわかつている。どうすれば、差別やいじめをなくす行動にうつしていくのか」ということについて、お話を聞きました。

《本江さんのお話から》

- ・差別するために生まれてきた人もいないし、差別されるために生まれてきた人もいない。人権学習をしないと、差別の問題に気づかないし、気づけない。
- ・学習することで、自分から差別の問題に気づけるようにしていく。
- ・学び続けることが自分の自信になり、差別をなくそうとする力になる。
- ・傍観者(見て見ぬふりをする人)ではなく、差別をなくすために行動できる人になろう。また、そんなクラスにしていこう。
- ・一人で差別をなくす行動を起こすのはたいへんだが、一人よりも二人、三人よりも三人というように差別をなくす仲間を増やしていこう。



最後のふり返りでは、「傍観者ではなく、差別・いじめをなくしていく人になりたい」「そのために人権学習を続けていていきたい」という感想が参加した三校の児童から出されました。

文化体験プログラム「アートな世界へようこそ! ~絵を描こう!~」1・2年生

10月31日(金)、1・2年生で三重県生涯学習センター事業の文化体験プログラム「アートな世界へようこそ! ~絵を描こう!~」をしました。画家の長船侍夢さんと生涯学習センターから3名の職員の方が来られました。子どもたちは、大きな1枚の紙に、手や足を使って色をつけました。また、「祭り」と聞いて思いつくものや人を描いたりするなど、全身を使って楽しく絵を描きました。

